

# オガタマノキ

●所在地／双海町高野川 高野川神社 ●所有者／高野川神社

モクレン科。<sup>かんしゅう きょうこう</sup>幹周は胸高280cm、<sup>じゅこう</sup>樹高23m、推定樹齡200年以上。この社<sup>しゃ</sup>叢<sup>そう</sup>には、ほかに幹周190cmなど3本のオガタマノキがある。

オガタマノキは西日本の温暖な地方に自生する<sup>じょうりょくこうぼく</sup>常緑高木である。花期は2、3月。径3cmほどの6枚の白い花弁を開き、<sup>ほうこう</sup>芳香を発する。

今日では<sup>しんぜん</sup>神前にはサカキを供えるのがふつうであるが、「オガタマ」とは<sup>しんれい</sup>神霊を招くという意味であることから、古くは神に捧げる木としてオガタマノキと名付けられた。そのため昔から神社や庭園に植えられることが多い。また

<sup>み こ てっこう</sup>巫女の手甲の鈴はこの木の実をかたどったとされている。

なお、オガタマノキの葉は<sup>ちよう</sup>蝶のミカドアゲハの幼虫の餌になっている。

